

吾妻溪谷

八ッ場ダム

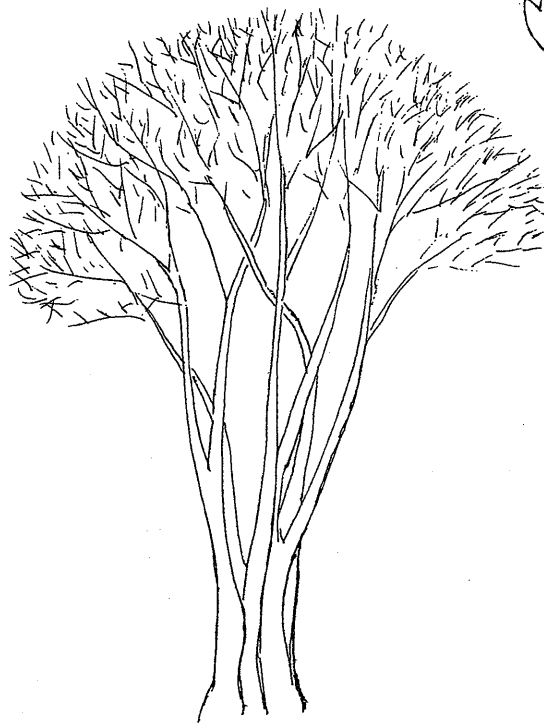
やんぼ

2003.11. NO.5

地えも下流も

ダムの被害者にならないために

利根川流域脱ダム宣言



かつて上流と下流の住人は
河川を通して自然の恵みを分かち合う仲でした。
ダム建設によって故郷を奪われようとしている地元の人も
あり余るダムの水を押しつけられて悲鳴をあげている下流の人も
どちらもダムの犠牲者です。

上流と下流が共に“いのち”をはぐくむ
本来の姿を取り戻すためには、
「八ッ場ダム計画」の本当の施主が
私達一人一人であることを
思い出す必要があるのではないのでしょうか？

八ッ場ダムを考える会
首都圏のダム問題を考える市民と議員の会

「たつと登場せんはつた」

THE JOMO SHINBUN

2003年(平成15年)11月20日(木曜日) (日刊)

事業費倍増 4600億

ハツ場ダム代
水没地

長野県のハツ場ダム
建設に伴う水没地
(山原郷、川原郷、林、
横、長野県)の代表者
代表者

THE JOMO SHINBUN

上毛新聞

「県民理解 得難い」

ハツ場ダム事業費増

県、負担減を要請

県の負担金200億走

経済変動で
国交省見直し 圧縮要望を検討

ハツ場ダム
事業費倍増
知事「縮減求める」

ハツ場ダム

総事業費4600億円に増
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

国交省 生活再建費、
評価委了承

国交省が変更案 600億円に
ハツ場ダム事業費倍増

県負担増78億 水道に藤岡市15億円

国交省が変更案 600億円に

ハツ場ダム事業費倍増

国交省が変更案 600億円に

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
国交省 県82億円、藤岡市12億円増

ハツ場ダム
一躍
日本一の金食いダムに

ハツ場ダム
一躍
日本一の金食いダムに

ハツ場ダム
一躍
日本一の金食いダムに

切札に、中2位約4600億円 宮川ダム (神奈川県)
中3位約3550億円 徳山ダム (岐阜)
11月20日7.2

緊急集会

・12月7日(日)
10:00~12:00

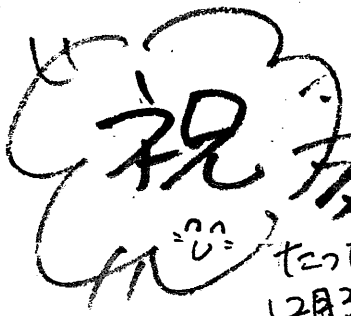
・群馬県女性会館大ホール
問合せ先:080-3278-9005

日本一の金くいダム

「八ッ場ダムを考える」

—事業費倍増 負担額 8500 億円に!—

(水特法・基金事業・利息も含めて)



祝
八ッ場ダム事業中止
決定
たつた今飛び込んだニュース
12月3日群馬県議会で決断
を中



基本計画変更後
八ッ場ダム建設事業及び関連事業の負担額の試算

(単位 億円)

		八ッ場ダム建設事業			水源地域対策特別措置法の事業	水源地域対策基金事業	合計負担額	起債の利息を含めた合計負担額
		負担配分額(国費を含む)	負担額(国費を除く)					
群馬県	治水	339	101	193	42	8	243	365
	群馬県水道	92	61					
	藤岡市水道	23	15					
	群馬県工業用水道	18	15					
埼玉県	治水	601	180	695	143	44	882	1,323
	埼玉県水道	773	515					
東京都	治水	539	161	634	131	41	805	1,207
	東京都水道	708	472					
千葉県	治水	586	175	405	61	19	485	727
	千葉県水道	152	101					
	北千葉広域水道企業団	46	31					
	印旛郡市広域市町村圏事務組合	69	46					
	千葉県工業用水道	64	52					
茨城県	治水	416	124	134	26	8	168	252
	茨城県水道	143	9					
栃木県	治水	31	9	9			9	14
国費			2,531	2,531	504		3,035	4,553
地元および受益者負担金					90		90	135
合計		4,600	4,600	4,600	997	120	5,717	8,576

[注1]起債利息の総支払額を起債額の0.5倍とする。
 [注2]水源地域対策特別措置法の事業費は1996年の計画値であるので、今後、増加が予想される。
 [注3]水源地域対策基金事業はまだ総額がきまっていないが、現在までの支出額から見て120億円と仮定した。
 [注4]治水分の国費負担率を7割とし、水道、工業用水道の国庫補助率をそれぞれ1/3、2割とする。

注目事実!!

作成: 嶋津暉之介

やんば早わかり

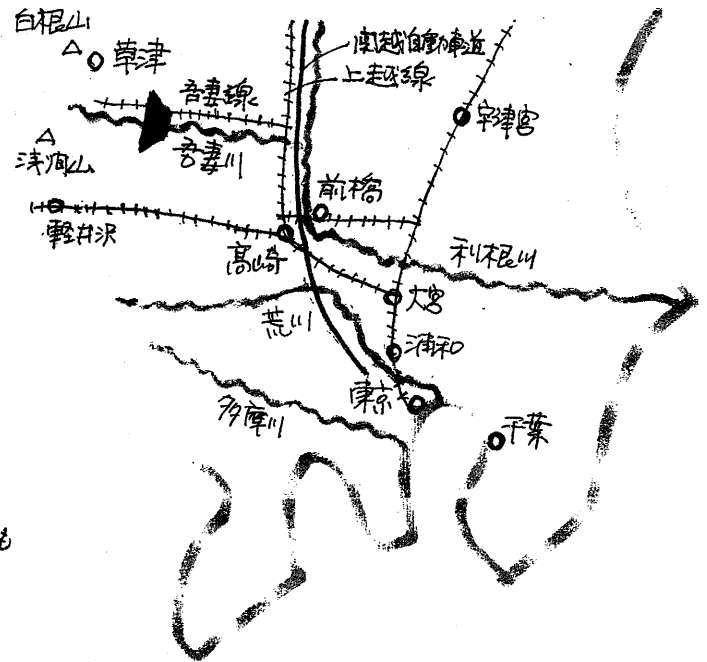
ハッ場ダム建設事業の概要

(国土交通省発行『ハッ場ダム』より)

- ・位置…群馬県吾妻郡長野原町。
利根川水系の吾妻川中流に計画。
- ・目的…①治水(洪水調節)
②利水(首都圏の都市用水開発)
水道用水/東京、埼玉、千葉、群馬、茨城
工業用水/千葉県、群馬県
- ・規模…総貯水量1億750万 m^3 。高さ131m。
利根川水系で3番目の規模。
- ・水没予定…340世帯。面積316ha(山林169ha)。
JR川原湯温泉駅、国道145号線ほか。

ダム建設事業費(案)2003.11.20

4600億円(これは日本-α金食いダム
に該当するという点で、関連事業費も
含めると約6000億円)



ハッ場ダム計画の歴史

- 1952年 建設省が調査開始。
- 1953年 吾妻川は草津白根周辺に水源があり、コンクリートや鉄を溶かす、魚も住めない強酸性の『死の川』であることから、ダム計画は一時中断。
- 1963年 草津中和工場建設。強酸性河川にミルク状の石灰を毎日約60t投入することで、 $pH2 \rightarrow pH5$ 程度に改善。
- 1965年 品木ダム完成。石灰乳液によって生じる中和生成物を貯留させるため。(品木ダムの堆砂率は現在約80%)。建設省はダム建設の見通しが立ったとして、ハッ場ダム計画を発表。住民は「反対期成同盟」を結成。激しい闘争は「東のハッ場、西の川辺川」と称された。
- 1975年 地元住民、県の生活再建案を二年がかりで見直す。国、県による切り崩し、町政への締め付けによって住民の生活はダム計画に翻弄され続ける。
- 1976年 ハッ場ダムを閣議決定。
- 1986年 ハッ場ダム建設に関する基本計画告示。
- 1992年 「反対期成同盟」は「対策期成同盟」と名称を変え、運動は条件闘争に。
- 1994年 付帯工事着手。
- 1999年 補償交渉委員会発足。地元と補償基準に向けた話し合いが始まる。
- 2001年 地元住民と国で補償基準合意。完成予定が1999年から2010年度に変更。

吾妻渓谷からの『脱ダム宣言』

1999年、前橋で「八ッ場ダムを考える会」が、2001年、東京で「首都圏のダム問題を考える市民と議員の会」が設立される。両会の提言は—

- ① 八ッ場ダムの本体工事の中止。
- ② 地元住民の長年の精神的苦痛に対し、国は補償する。

八ッ場ダムの問題点

① 水需要が頭打ち

最近の都市用水は横這い又は減少傾向。
 関連各都県は現在の保有水源で充分足りている。
 ダム完成予定の2010年には、首都圏人口は
 ピークを迎える。

② 治水に八ッ場ダムは不要

利根川の治水計画は、1947年のカスリン台風の洪水をベースに、200年に一度の洪水に対応するよう策定されている。戦争直後の山が荒れ果てた当時と比べ、半世紀を経て森林整備が進み、利根川上流にはすでに六基の大型ダムがある。河川改修を計画通り実行すれば、治水上也新たなダムの必要性はない。

③ 自然破壊

生態系の頂点にあるイヌワシ、クマタカはじめ、絶滅危惧種の動植物が数多く生息する自然の宝庫、吾妻渓谷を破壊する。

④ 水質悪化の影響

吾妻川は「複合汚染の川」。上流の鉱山跡地からヒ素、カドミウムなど重金属類が、嬭恋村から大量の農薬が、草津温泉から生活排水が流れ込む。この水をダムに貯留して濃縮させるダム開発によって、首都圏では良質の自己水源である地下水を切り捨てる事になる。水質がさらに悪化し、未来世代に深刻な被害をもたらす事は必至。

⑤ 地質の問題

浅間山の噴火泥流でできた軟弱な地質が、ダム工事を困難にしている。がけ崩れの恐れのある沢ごとに40以上の防災ダムが出来つつあるが、地質調査を進めていけばさらに工事費を上乗せしても寿命の長いダムのできる可能性はない。

⑥ 財政破綻

八ッ場の事業費は全国の数あるダム計画の中でもトップ。不況にあえぐ経済を圧迫し、税金、水道料金の高騰を招く上、財政破綻の一因となる。

⑦ 政官財癒着の公共事業

かけがえのない渓谷を鉄とコンクリートの捨て場にするのは、他の公共事業と同じく政官財癒着の構図があるから。特に旧群馬三区に位置する八ッ場ダムは、自民党大物政治家、福田、中曽根両氏の利権との密接なつながりが指摘されている。



関東の大学生・職員・理事・大学院生 44名 10/26 ハッ場エコツアー

吾妻溪谷を初めて訪れました。さすが名勝の地、訪れる人々の多いのも納得しました。丁寧な説明を聞きながら、これらを壊そうとする力に腹が立ちました。
(早稲田大学・牛山積)

脱ダム宣言知事のお膝元、長野から参加しました。でもハッ場ダムのことは全く知りませんでした。啓蒙の場としては最高でした。(長野県立短大・白鳥洋子)

ここに来るまでハッ場ダムの事は知りませんでした。日常使っている水の問題が小さな村の人々の生活を破壊し、人々を苦しめている事を知って胸が痛みました。また相変わらずの硬直した行政には腹が立ちます。(明治薬科大学・井上忠也)

ダム建設は地元住民の意思を優先させるべきだ。環境、景観などの点から、巨額な資金投入をしてまでの建設続行は疑問を感じる。(明治薬科大学・辻本利雄)

自然は
ありのままの方がいい

トトロの森保存会」のためのささやかな活動を行っていますが、生活圏を破壊し、自然の治山、治水力まで破壊してしまうダム工事の不条理、不合理性を痛感しました。
(匿名希望)

人権」という言葉が印象に残っています。地元の人々の気持ちを大切にしたいと思います。(明治薬科大学・向日良夫)

人々の生活は
安らかな方がいい

税金のムダ使いもさることながら、この景観を壊すのは忍びない。ダムの影響を自分達も日常受けていると考えたら他人事ではない。(明治薬大生協・内堀均)

壮大なムダづかいを目の当たりにして、改めて政府の無策を思いました。
(電通大生協・石井愛)

脱ダム』をもう一度考えてみる必要がありそう。一体誰のための『ダム』なのか疑問です。(津田塾大学・澤田あゆみ)

日本の河川は急流のため土砂がたまり、ダムとしての機能が早期に損なわれる。また海岸への砂の補給を妨げるため、海岸侵食の原因となっている。水田、森林の保全を迫れば、ダムは必要ない。首都圏の水は雨水、地下水の活用を考えるべきだ。(東京農工大学・久野勝治)

川辺川ダムをはじめ西の方の河川をめぐる問題は知っているつもりでしたが、こんな身近にまさに私達の暮らしに直結するような形でダム問題があるとは知りませんでした。美しい溪谷、山々などの自然と拮抗した「ダム建設」には胸が痛むと同時に憤りを感じます。
(津田塾大学生協/三浦正義)

さいたま市民としてできることをやっていきたい。(埼玉大学・松本三枝子)

「ハッ場ダムストップさせる埼玉の会」では、
会員募集中。ぜひご連絡を。

● ハッ場のおかしな物語 その1 ●

● 一億円上乗せは怠慢から ●

およそ二倍にもはね上がった事業費。では、実際どんな使われ方をしているのだろうか？

春頃のことであった。国土交通省広報センター「やんば館」の東側、移転した長野原第一小跡地のうしろの急峻な山肌にユンボがへばりつくように出現し、人目をひいたのは。

ほどなく、久森トンネルの工事に伴って、工所用資材やダンプを70メートル上に運ぶ、ケーブル状のインクライン工事であるとの国土交通省の説明があった。会合の席で、費用は一億円以上も上乗せと聞いた水没関係者は、自分達への補償金はチマチマとしているのに、なんとムダなことかと苦々しく思ったそうである。

というのは、この工事は本来、侵入路のできあがった川原畑地区側から行われるはずであった。ところが国土交通省が地主を訪問して承諾を得ることを怠り、勝手に測量を行ってしまったため、地主が怒って決裂。進退窮まった同省の苦肉の策であることがつづやかかれていたからだ。

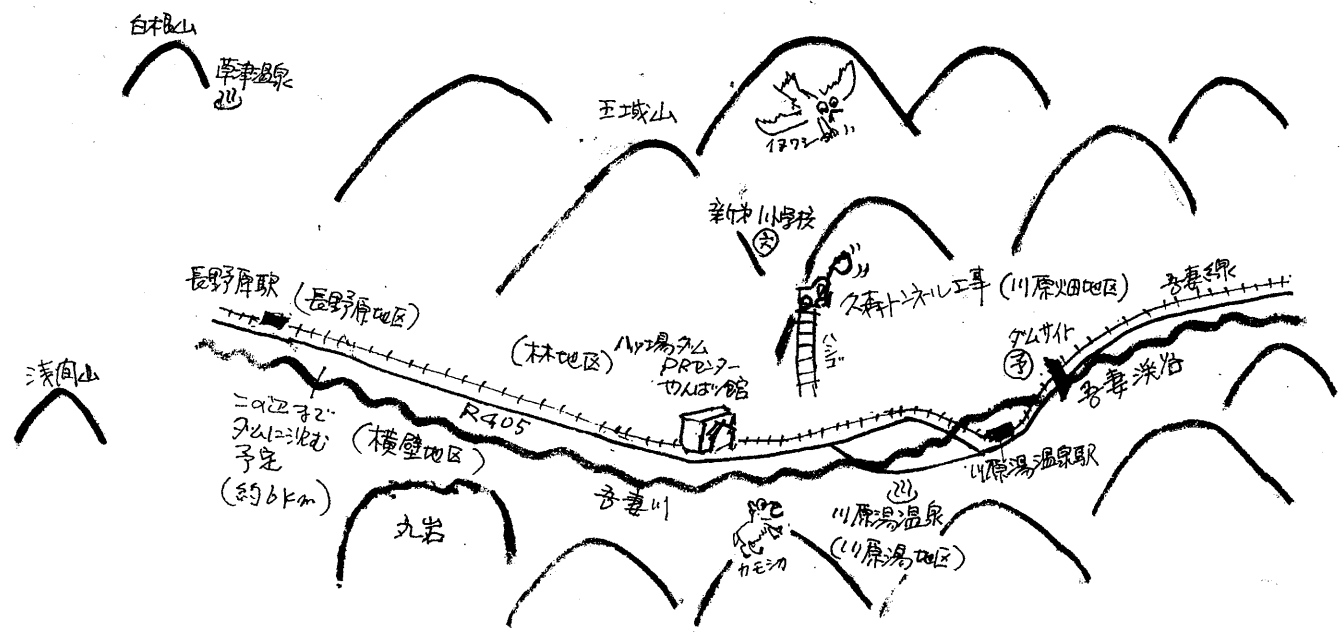
工事は7月に完成し、作業スタッフ用のモノレールも脇に設置された。

ところで、カラー刷りのぜいたくな装丁の「広報やんば」(発行：国交省ハッ場工事事務所、編集：上毛新聞社編集局) NO.5によれば、「急峻な地形、克服する運搬手段」の見出しのもと、同省の怠慢など微塵も感じさせない、お決まりの自画自賛記事となっている。

トンネルはもうじき出口に達する。さて、11月末現在、件の地主には未だなんの話もないそうである。

今後はどんな工法がとられ、ゼネコン企業がまたも潤うのであろうか？

水没予定地では官も民も、「カネはいくらかかってもよい」的な風潮が見受けられるが、そのカネが国民の血税であることを忘れてはなるまい。(すずき)



八ッ場ダムを考える会 第5回総会

11月1日(土)、前橋市民文化会館

参加 44名

2003年度活動方針

- I. 東京、千葉、埼玉など下流域の運動と連携を強め、八ッ場ダム本体工事の中止を求めていく。
- II. 地元住民と連携し、住民の権利が損なわれないよう協力していく。
- III. 名勝「吾妻渓谷」をはじめとする自然環境の保全を図り、次の世代に引き継ぐ事を目指していく。
- IV. 現在群馬県内で計画されている倉淵ダム、増田川ダム、戸倉ダムなどに対する反対運動と情報交換をしながらつながり合い、実質的な「群馬脱ダムネットワーク」に向けた活動をしていく。
- V. エコツアー、学習会、水質調査をはじめとする各種調査、ホームページの更新などを行い、会報「吾妻渓谷を沈める八ッ場ダム」やパンフレット等の広報活動を通じてより多くの市民に理解と参加を求めていく。



* 2002年度活動報告・会計報告
 2003年度活動方針は
 全2総会承認されました。

* 2002年度 会計報告

収入 前年度繰越金	154,810円
2002年度会費	151,000円
ドナー	527,035円
Case	3,200円
計	836,043円

* 2003年度から
会費 (総会および総会承認の年分)
2000円 も承認されました。
 (学生1000円、団体3000円)
 年4回発行の会報代1000円
 会誌会費は1000円です。

支出
 次年度繰越金 351,706円
 *年度末にドナーをいれていて、
 繰越金が増えたと増えたと増えました。

千葉県の弁護士会
 からの
 メッセージ

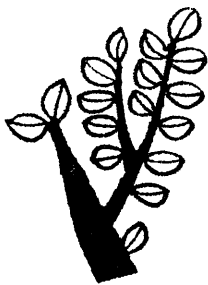
弁護士の立場から、千葉県を中心に公害の根絶と自然環境の保全を求めて活動してきた者の一人として、八ッ場ダム建設事業の即時中止を求めます。

先日、県内の弁護士8名で現地を訪(おもむ)き、吾妻渓谷のすばらしさに感動しました。と同時に、このかけがえのない自然が根底から破壊されようとしていることに、煮えたぎる憤りを覚えました。

560億円もの負担を強いられる千葉県民の一人として、ダム建設を中止に追い込むまで奮闘する決意です。
 とともに頑張りましょう。

2003年11月1日

弁護士 中丸素明(もとあき)
 (千葉県弁護士会
 公害対策・環境保全委員会委員長)



衆議院の総選挙が終わりました (11/9)

公開アンケート

「八ッ場ダムを考える会」では、群馬県の総選挙立候補者に公開アンケートを実施しました。うち民主党、共産党の候補者全員と自民党の谷津義男氏が回答。八ッ場ダム建設については、長沼広氏（民主党）と谷津義男氏が「推進」、他の候補者は「中止」。回答くださった全員が「群馬の豊かな自然を保全し、生かしていく」という意見で、推進と回答したお二人も地元住民の生活保障に配慮すべきという内容でした。

八ッ場ダム予定地は、群馬五区。「公共事業で地元の活性化を」と訴える前職の世襲議員から、回答はありませんでした。結果は従来通り、前職が大量得票で当選でした。

「ヤンバの学校?！」

総選挙のさなか、前橋では「八ッ場ダムを考える会」総会記念講演会が開かれました。講師の小川明雄氏は、「全国の市民運動は一定の成果を収めているが、200年遅れの市民革命いまだならず」と語りました。

「政治は嫌い」という声をよく耳にします。そういえば、かつては多くの一般民衆が、自由がなかった代わりに何も考える必要がなかったのです。戦後50年を経て、もしかして具体的な事例と関わる市民運動が、民主主義という苗木を育てる場になっているのかもしれない。「八ッ場の学校」は私達に何を教えてくれるのでしょうか?

大自然の循環がこわれてしまう

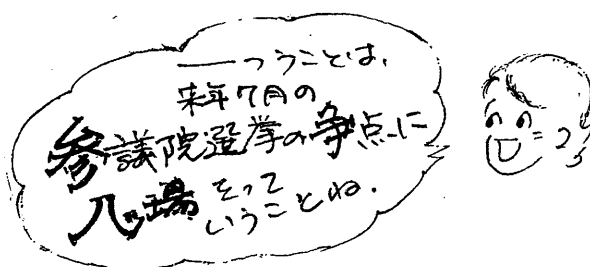
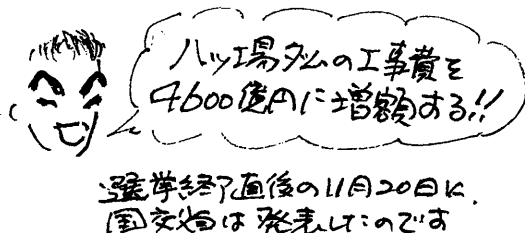
群馬は水源県であると同時に農業県でもあります。首都圏の「命の基地」であるはずの群馬県で、総選挙の間、「命の循環を踏まえた産業構造転換」といった本質的な政策論争は、ついに聞かれませんでした。

群馬県のみならず全国の農地が今、危機に瀕しています。海外から大量に飼料を輸入した結果、大地はチッソ過多で酸性に傾き、その影響は水にも現れています。

命の危機を脱するためにホンモノの政治を

小泉首相は「農業分野での鎖国政策の転換」を掲げています。経済を活性化させるためにと、大量の輸出の見返りとして40%を切る食糧自給率をさらに下げ、海外への食糧依存度を高めれば、やがて日本の大地は荒廃し、山野はゴミとコンクリートの捨て場と化すでしょう。かつて滅んだ文明の歴史が教えるように、大地が死んだところで人間は生きてはいけません。食糧危機が訪れれば、福祉も軍事も吹っ飛びます。

「八ッ場ダム」現地では、長年のダム闘争に疲れきった地元住民が、代替地と呼ばれる地すべり地帯に追いやられようとしています。政治の不在がこれほど酷い形で人々の生活に影を落としている所はありません。



この「八ッ場ダム」の問題は、命の循環を踏まえたホンモノの政治こそ求められていることを、私達に示しているのではないのでしょうか

栃木の県営ダムがストップ?!

7月、栃木県の福田知事は、東大芦川ダム中止の方針を正式に表明しました。県公共事業再評価委員会はこれを全会一致で了承。残るは県議会との対応です。

大芦川は前日光、足尾の山々から流れ出る思川の支流です。1973年計画当初、建設を恨みながらも容認してきた住民達が反対運動に立ち上がったのは、計画が目に見えて動き出した10年前頃。今回の知事表明は、多くの人々の“思い”の結実です。

「大芦川緑のダム宣言」(随想社)より一

* 石原政男 (西大芦漁業協同組合代表理事組合長)

「下流域の人が生きる為にダムが計画されたのであれば、それは皆で生きるためにはしょうがない。…水は天からの恵みであって皆のものです。これは山村生活のオキテなんです。でも、必ずしも水が不足していない状態でダムを造るとなったら、それは話は別ですよ。…ダム問題が浮上した時には対立もありました。…当時の自治会は地域の活性化につながるなどの理由でうまく噛み合いませんでしたね。…ダム問題が発端となって封建的なこの地域の平成維新ができた…」

* 竹澤正之 (西大芦地区自治会協議会会長)

「この自然を素晴らしいと感じたのは、実はダム問題が出てきてからなんです。当たり前の自然が壊されることに危機感を感じました。…(略)住民の意識調査を何度も行った結果、いずれも9割以上の住民がダム建設に対して反対でした。」

* 大貫林治 (立木トラストの会、大芦川の清流を守る会)

「立木トラストは三年前に藤原信先生との出会いがきっかけです。おかげさまでこの運動の参加者は1200人まで増え…(略)…離れていく人もいれば、また新しく住まう人もいます。これまでの落人集落とは違った新しい山村生活のスタイルを見出し、私達の地道な活動が地域活性化の第一歩に成ってくれば…」

* 関谷忠一 (大芦川自然クラブ代表) あすあめそ-ムノ-ジゴす さん

「私がいちばん好きなのは、朝霧に包まれた大芦川の姿とその背景にある山々の景色…感動して涙が出ますよ。…最近の川は水なんか飲めませんが、大芦川の水はいまでもゴクゴク飲めるんですよ。五臓六腑にしみわたるほどうまいんだから」

…というわけで、栃木県のダム問題も解決間近…と思いきや、実は県営ダムの後ろに、それより遥かに巨大な国のダム事業が控えていたのです。

1996年、会計検査院が八ッ場ダム計画と共に問題アリ、とした「思川開発事業」がそれ。「(首都圏の両事業は)洪水被害の軽減が今後も長期にわたって期待できないほか、事業費の増加などから原水単価が高騰する」(『会計検査のあらまし—平成6年度決算』)

じつはまぼろし

栃木のダム問題

レポート

藤原信

宇都宮大学名誉教授。農学博士。

思川開発事業を考える流域の会代表



思川開発事業

鹿沼市に計画中の思川開発事業は、水資源開発公団（今年10月より独立行政法人「水資源機構」）により1964年、東京オリンピックの年に発表されました。利根川水系、渡良瀬川の支流、思川の上流の小川に1億トン貯水する南摩ダムを造るというもの。水の供給先は埼玉、千葉、栃木など首都圏です（東京都は利水権を返上）。

しかし小さな南摩川ではとても一億トンの水は貯まらないので、20キロ離れた今市市の大谷川から導水管で水をもってくる計画でした。水を取られる今市市では、反対期成同盟会が結成され、今市市、市議会、住民による反対運動が展開されてきました。

「脱ダム」めざす市民運動

1997年、「思川開発事業を考える流域の会」が結成されました。栃木県内の脱ダム運動はこの会を軸に、今市市、鹿沼市でダム反対運動を繰り広げる様々な団体、県自然保護団体連絡協議会、日本野鳥の会県支部などが互いに連携しています。運動方針は様々でも、相手を誹謗中傷することなく、ダム建設中止に向けて協力し合ってきました。

ダム計画を縮小、それでも・・・

2000年11月、建設省（現国土交通省）は「南摩ダム継続、大谷川分水中止」を決定。南摩ダムの総貯水量は5000万トンに縮小されました。大谷川分水に代わり、今度は鹿沼市の黒川、大芦川から取水し、10キロの導水管を通す計画です。

「脱ダム？」知事にイエローカード

同じく11月の知事選で、今市市長であった現知事は、ダム事業の全面的見直しを公約に掲げ、ダム推進の前知事を875票差で破って当選。福田知事の誕生は、ダム反対住民を中心とした“県民勝手連”による応援が大きかったと言われています。

福田知事は知事選後、初の12月議会でダム事業見直しの検討会を設置すると発言。しかし翌年3月の県議会において、共産党を除く四会派は2つのダム建設推進を求める決議を行いました。これを受けて5月、知事は「思川開発事業は参画、東大芦川ダムは結論を二年先送り」と表明しましたが、この知事表明は県民の怒りを買って、公約違反として県民から「イエローカード」が出されました。

そして残った重い課題

今年7月30日、ようやく知事は東大芦川ダムの中止を正式に表明しました。これからは思川開発事業中止に向けての運動になります。千葉県在住の住民運動と手を組み、利水からの撤退に向けて千葉当局を動かすのが当面の課題です。

川辺川ダムの現地からのメール

田中完治（人吉市）

熊本県人吉市在住の者です。ご存知の通り、こちらでも“川辺川ダム”が大きな問題になっています。中止に持ち込むのは実に困難なのではないか、そう思うこともあります。ですがこうして同じ活動をされている方々を知ると、我に帰り、奮い立つ事ができます。

実は私は地元出身ではありません。たまたま転勤でこの地を訪れ、球磨川、川辺川に取り憑かれてしまい（！？）、永住を決意したのでした。来た当時は、ダムはもとより川にさえ興味がない仕事三昧の転勤族サラリーマン。「ダムはきれい」、「人間がこんなもの作るなんてスゴイ」なんて調子で、今考えると悲しくなりますが、当時はダムも自然の一部のように錯覚し、木や草の緑があることが“自然がいっぱい”であると勘違いしていたのです。

ところが、地元で出会った一人の友人のおかげで、大きく価値観が変わりました。川で泳ぎ、釣りを覚え、沢歩きを覚えた頃、この川が健康でないことに気がつきます。あまりの砂防ダムの多さに驚き、非常に不快になります（確か現状で 150 基ほどあり、さらに倍近い数が予定されている）。地元の人が口にするのは—

「昔はよかったばい。水量も多く、魚もたくさんおったばってんね〜」

今、工事もかなり進んでいますが、この状態でも破壊がここで止まるに越した事はありません。こちらも川辺川ダム反対運動を続けていきたいと思います。八ッ場ダムもなんとか阻止して建設中止となるよう心から願っています。頑張ってください！



蛇口をひねれば水が出る

その水道の水も、ダムに沈む多くの住民の犠牲の上につくられた
おそろしい自然破壊、人間不信の国策によってつくられた水

ふるさとが湖底に沈む

生活している家が沈む

畑が消える

山が、川が、学校が、橋が・・・

言葉には表せないこの寂しさ、苦しさ、切なさを

一人でも多くの都会の人々に伝えたい

湖底に沈むふるさとへの思いを詩に託しています。（豊田こけし）

各都県議会の審議予定

【都議会】：12/11 の都市・環境委員会に注目！ 事業費変更案を付託される同委員会の審議のみで、巨額な税金投入が決定される可能性もあり。八ッ場ダム計画に反対する議員らは、都知事、議会各会派に要望書を提出し、継続審議に持ち込み、他県の反対運動と連携しようと頑張っています。

【千葉、埼玉、群馬各県議会】2月議会で審議予定。

〈議会の外で、私たちができることってなに？〉

いよいよ首都圏全体に広がった「八ッ場ダム反対運動」が新たな段階に入ります。まずは2月議会に向けて署名運動“第一弾”をスタート。日本全国どこに住んでいる方も参加OK。その他、新聞に投書、テレビ局のホームページにメールなどなど…みんなの知恵を出し合って、“やんやんや”と八ッ場ダム反対運動を盛り上げましょう！

事務局だよ

- 今号から会報は「八ッ場ダムを考える会」、「首都圏のダム問題を考える市民と議員の会」をはじめとする首都圏全体で“八ッ場ダム反対運動”に取り組む団体の共通会報となりました。
- 国土交通省による「八ッ場ダム事業費変更案」が発表され、事態が急展開したため今号は急遽増ページとなりました。
- 11/1 の総会記念講演会“公共事業はなぜ止まらないのか？”、11/2 の「地質」をテーマとしたエコツアーなど、是非お知らせしたい事で掲載できなかった分を含め、次号において“八ッ場ダム計画の今”をお伝えしていきます。

連絡先：

八ッ場ダムを考える会

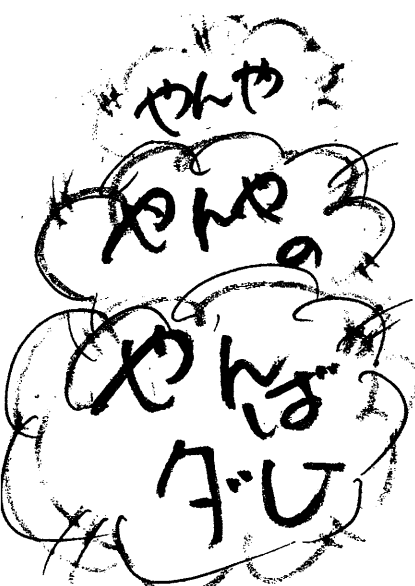
首都圏のダム問題を考える市民と議員の会

八ッ場ダムを考える千葉の会（北澤）

八ッ場ダムをストップさせる埼玉の会（藤永）

八ッ場ダムを考える小平の会（深澤）

八ッ場ダムを考える会太田支部



音の中で

豊田 こけし

私の住んでいる上の山から
裏の林から
対岸の畑から
朝からガーゴージと
ダム工事の音がする

その音の中で
洗濯物を干し 予守りをする
時には発破の音で
家はガタガタ 人はおののく
粉塵の上がる下で 畑を耕す
雨の日も 雪の日も
休むことなく 続けられる音

国道百四十五号線は
大型タンプカーが
ひっきりなしに ゆきかい
軽自動車を運転する私は
ハンドルにしがみつく

この歴史ある集落は
日々ダム工事が続いて
家はもちろん
山も 川も 谷も 畑も
すべてのものが
消えようとしている

ふるさとが
湖底に沈むということは
こんなにも
苦しく
つらいものなのか

音の中で
私は また悲しくなる

八ッ場ダムは現在の計画では、平成 22 年に完成の予定です。
けれども本体工事はまだ始まっていません。
次の時代の命のために、八ッ場ダムをストップさせましょう。

【会員年中募集中】

年会費（秋の総会から次の総会まで）／個人 2000 円、学生 1000 円、団体 3000 円
会員には年 4 回会報をお届けします。

《カンパしてもいいなという方は・・・》どなたでもぜひ下記にお願いします。
郵便振替講座番号 00550-2-32681 （加入者名・八ッ場ダムを考える会）

発行 八ッ場ダムを考える会